



学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するため、7月に本校の教育活動に対する「保護者アンケート」を実施しました。今回は、ほぼすべての保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。また、授業や生活についてのアンケートを生徒や教職員にも実施しました。今回は、集計結果の概要についてお知らせします。

◆表中の数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒または保護者の割合です。

学校生活について

アンケートの結果では、「学校へ行くのが楽しい」と回答した生徒が全体の94%（1年生93%、2年生90%、3年生98%）で前期比+7%と増加しています。多くの生徒は学校で楽しく過ごすことができているようです。

	質 問 項 目	R3 前期	R2 後期	比較
生 徒	学校へ行くのは楽しいですか。	94%	87%	+7
	先生方は、自分の努力したことをほめたり、認めたりしてくれていますか。	94%	90%	+4
保護者	お子さまは、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	87%	84%	+3
	学校を信頼して子どもを預けていますか。	95%	95%	±0

昨年度から続く、コロナ禍での活動ではありますが、生徒たちは毎日元気に学校生活を送っています。学校にとって「生徒が毎日楽しく学校生活を過ごしてくれる」ことが何よりうれしいことです。日々の学校生活で目標を持ち、有意義な学校生活を送ってほしいと願っています。自ら進んで活動に取り組むことで、達成感や満足感を感じ、学級の友達との絆を一層深め、学校生活が楽しく充実したものになることを期待しています。

今後も、今以上に一人一人を大切に、きめ細かな指導を心がけ、一人でも多くの生徒が充実した学校生活を送り、保護者や地域からより信頼される学校となるように努めていきたいと思ひます。

学校では、学習環境のより一層の整備と、日々の観察や生活ノートから生徒一人一人を見取り、一人でも多くの生徒が「学校が充実していて楽しい」と思えるような指導・支援を心がけます。今後も保護者と連携を図り、心身共に健やかな生徒の育成に努めていきたいと思ひます。

学習について

今年度、本校における学力向上の重点課題の一つは、「自分の考えを積極的に表現できる生徒の育成」です。生徒アンケートにおいて、「自分の考えを積極的に表現できていますか」という問いに対し、『当てはまる』と言い切った生徒の割合は、全体の26%でした。



『どちらかといえば当てはまる』と回答した生徒も含めると70%でしたが、他の質問項目に比べやや低い数値となっています。本校の生徒は真面目な生徒がとても多く、授業中は先生の話をしっかり聞き、ノートも丁寧に書いています。しかしながら、せっかききちんとまとめた自分の考えを、発表したり、相手に伝えたり、考えを深めたりする力はまだまだ弱いと感じております。今後は、積極的に自分の考えを表現できる生徒が増え、活発な授業になることを期待しています。

	質 問 項 目	R3 前期	R2 後期	比較
生 徒 ※は新規項目	※授業はわかりやすいですか	99%	—	—
	※課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができているか	90%	—	—
	自分で計画を立てて勉強していますか	79%	80%	-1
	※自分の考えを積極的に表現（書いたり・話したり）できていますか	70%	—	—
	自分の考えを相手に伝え、考えを深めることができますか	80%	81%	-1
	道徳の時間や様々な活動を通して人としての生き方について考えることができますか	97%	96%	+1
保護者	学校は、分かりやすい授業や学力向上(学習内容の定着)に努めていますか	94%	86%	+8
	お子様は、家庭学習に毎日取り組んでいますか	81%	70%	+11
	お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか	69%	63%	+6

4月に実施した1・2年生の市学力調査及び、5月に実施した3年生の県・全国学力調査では、各教科についての分析・考察を行い、具体的な改善のポイントを示し、授業に生かしているところです。今後も生徒が学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むよう「わかる授業」を目指していきます。

家庭学習においては、主体的に学習を進めることが大切です。部活動においては1週間に2日間の休養日を設定しています。休日や帰宅後の時間の使い方が重要です。メディアコントロールや睡眠時間の確保も含め、時間をコントロールする力が求められます。2学期も保護者の皆様と連携した家庭学習の取組「KATEGAKUタイム」を実施します。より良い学習習慣の確立のため、ご協力よろしくお願いします。今後も、保護者の皆様と連携して、より良い家庭学習の確立できるよう、ご協力をお願いします。

0 将来について 0

本校では、3年間を通して、職業調べや高校調べなど「将来や生き方」に関する学習を計画的に行っています。「将来の夢や目標」に関する項目では、数値はどれもほぼ増加しています。これからも、将来の展望を持って学習や学校生活に取り組んでいけるよう指導していきたいと思っています。

	質 問 項 目	R3 前期	R2 後期	比較
生 徒	将来の夢や目標を持っていますか。	81%	76%	+5
	自分には、よいところがあると思いますか。	81%	84%	-3
保護者	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。	69%	64%	+5
	学校は将来のことや進路について考えさせる指導に努めていますか。	83%	80%	+3

「自分には、よいところがあるか」の自己肯定感を表す数値は81%(R2 後期 84%)となっております。生徒たちの頑張ったことを褒めて・認めることで、自分に自信を持って行動できるよう、励ましや声かけ、支援に努めていきたいと思っています。

総合的な学習の時間や特別活動の時間などを通して、3年間スパンの「キャリア教育」の充実を図っていきます。ご家庭でも、目標や夢、将来の展望や将来の生き方についてお子さんとじっくり話す機会を持っていいただければと思います。

0 規範意識の向上 0

昨年度、地域や保護者の皆様から、「宇ノ気中の生徒が、以前のようなあいさつをしなくなって残念だ」というご指摘がありました。そこで今年度は、『目指せ、あいさつ日本一』のスローガンのもと、全校生徒が一丸となって、宇中の伝統である元気でさわやかなあいさつを復活させます。



	質 問 項 目	R3 前期	R2 後期	比較
生 徒	こだわり清掃や黙働清掃ができていますか	94%	94%	±0
	家庭や地域で、しっかりとあいさつをしていますか	96%	96%	±0
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	98%	98%	±0
	交通マナーを守って登校できていますか	99%	100%	-1
保護者	学校は、社会のルールや規範意識の育成に努めていますか	96%	91%	+5
	お子様は、家庭であいさつをしていますか	91%	88%	+3
	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか	76%	78%	-2
	本校生徒の交通マナーはよいですか	81%	79%	+2

いじめについては、「どの学校でも、どの子供にも起こり得る」問題であることを十分認識し、「いじめは、どんな理由があっても、人間として絶対に許されない行為である」という意識を、一人一人の生徒に対して徹底し、これからもいじめの未然防止・早期発見に努めてまいります。

保護者の皆様、アンケートのご協力、また、貴重なご意見ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い宇ノ気中学校を創っていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

保護者の皆様からのご意見より

○部活の大会において、保護者送迎が必要な場合の連絡が不十分で困りました。

大変ご迷惑をおかけしました。部活動の大会については、原則、中体連が主催する大会については学校よりバスが出ます。(※特別に学校が認めた大会についても同様) それ以外の大会及び練習試合については、各部活動でバスを手配したり、場合によっては保護者の方々に送迎をお願いすることもあります。その際は、できるだけ早く保護者の方々にお知らせするようにいたします。今後ともよろしくお願いいたします。



○ネット環境を整えてから部屋にこもることが増え、コミュニケーションが減りました。制限してもネットが使えるってだけで、使えなかった以前より、ゲームやネットの時間が増え、勉強も疎かになっています。正直、タブレット学習が良いとは思えません。

これからの社会は、「Society (ソサエティ) 5.0」、に対応し、更なる発展を担う人材を育てていく必要があります。「Society5.0」とは、わかりやすく言い換えると、インターネットやAI (人工知能) などの最新テクノロジーを活用した便利な社会 (ソサエティ) のことです。文部科学省の考え方として、タブレットは特別なものではなく、文房具と同じという考えです。学校としても、タブレット端末を小・中学校段階から使いこなし、プログラムを勉強していくことは、今後の社会の発展につなげる上で、とても大切なことだと考えています。ご家庭におかれましても、生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間や目的等を十分に話し合って効果的に使用していただければと思います。



○アンケートは無記名がよいと思います。

学校としては、アンケートの中身がプラスの意見であっても、マイナスの意見であっても、理由を具体的に示していただければ、それは貴重な情報であり、学校をより良い環境に整えるためのアドバイスになると考えております。特に、保護者の皆様からお寄せいただいた多岐にわたるご意見やご要望には、学校として適切に対応しなければならないと考えています。中には個別にお答えする必要があるご意見も多くあり、いくつかにつきましては、保護者懇談会等を通して、直接学級担任からお答えさせていただきました。

今後も、お一人お一人のお考えや、ご意見・ご質問に対し誠意をもって対応させていただきますので、記名式のアンケート実施にご理解をいただくとともに、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



○入学式の時の校長先生のお話で、いじめはないものだと言われていましたが、そんな学校に子どもを預けるのが不安になりました。トラブルはあるとした前提で、小さなトラブルでも起きた時点ですぐに対処をするのが学校の役割ではないでしょうか。人間誰でも人と関われば、いろんな感情が生まれます。いじめはないと言断するのは危険だと思います。まずは先生方の意識を変えていただきたいです。トラブルは起こすなと生徒に言うのではなく、起きてもしっかりと対応するので安心して下さい、というお話が聞きたかったです。起きた時にどう対処するかで全く変わってくると思います。トラブルになった時に、学校がどう対処されるか不安です。

まずは、校長としての考えが正確に伝わらなかったようですが、「いじめはない」と断言したことはありません。あらためて本校のいじめに対する基本方針をご説明させていただきます。

まずは、入学式時の式辞についてです。

みなさんには、「思いやりの行動がとれる人間」になってほしいと思います。「こころ」は誰にも見えませんが、「こころづかい」は、はっきり見えます。「思い」は見えませんが、「思いやり」は、誰にでもはっきりと見えます。たとえ、思いやりの心や、気持ちを持っていたとしても、それを行動として行わなければ、そのような思いや気持ちを持っているとは誰にもわかりません。反対に、優しく温かな「思いやり」のある行動や「心づかい」は、誰にでもすぐわかります。だからこそ、人を思いやるその優しい気持ちを、勇気を持って積極的に行動として表してください。



その中でも、いじめは人間として絶対に許されない行為です。そして、偏見や差別・誹謗中傷。人間社会でいじめなんてなくなると言っている人がいます。そんな考え方の蔓延が、いじめの根絶の邪魔をしています。GIGA スクール元年、SNS をいじめの道具にしないでください。みなさんには、相手を本気で思いやり、労り、困っている友だちを助ける勇気を持ってください。そして、迷わず先生たちに助けを求めてください。先生たちは、全力で守ります。

令和3年度 入学式 学校長式辞より 一部抜粋

表面にも記載したとおり、いじめについては、「どの学校でも、どの子供にも起こり得る」問題であることを、すべての教職員が十分認識し、「いじめは、どんな理由があっても、人間として絶対に許されない行為である」という強い意志を、これまでも、そしてこれからも持ち続ける所存です。

いじめは、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであります。

いじめ問題への対応は、学校における最重要課題の一つであり、学校が一丸となって組織的に対応していきます。また、いじめの防止等の対策は、全ての生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう努めてまいります。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

